

山梨県小菅村の総合事業について（コミュニティバス実証運行）

現況及び課題

- 村内に鉄道駅がないため、鉄道に乗るためにはバス路線で村外のJR奥多摩駅に行くしかないなど、公共交通が極めて不便である。
- 村南部の長作地区には民間バス路線がなく、村外へのアクセスがほぼ不可能な状況である。
- 村営バス、医療機関への送迎バス、スクールバスが個別に運行しているため、バス運行時間外に待機している状況が発生しているなど効率が悪い。

活性化の方向

- 現状の村営バス(村内循環)を金風呂方面と長作方面の2系統に分離し、運行本数拡大、所要時間の短縮を図る。
- 金風呂方面については、村外まで延伸することにより、奥多摩駅方面へのアクセス向上を図る。
- 長作方面については、上野原方面への高校生スクールバスを活用することにより、運行本数を確保し、上野原方面へのアクセス向上を図る。

現況及び課題

● 目標①『村営バス乗車人数の増加』

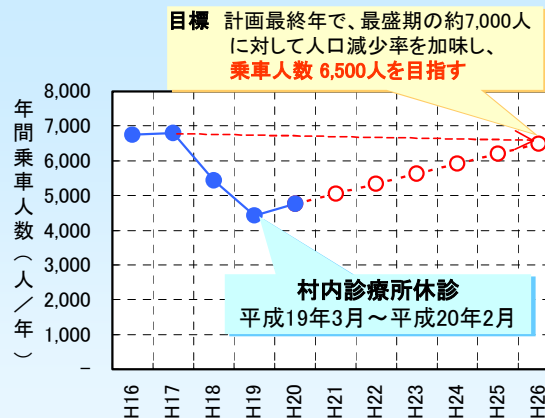
現状(H20): 5,000人/年 ⇒ 計画最終年(H26): 6,500人/年
 村営バス利用の最盛期7,000人/年(H17)の水準に対して、人口減少状況を加味して設定。

※H19.3より村内診療所が休診し無医村となったため、現在の水準まで利用が急落

● 目標②『村民の外出活動の促進』

現状(H20): 50% ⇒ 計画最終年(H26): 70%

※買い物等の日常生活交通(通勤・通学除く)を“週1回以上行方”村民の割合。



【参考】村営バスの年間乗車人数の推移

山梨県小菅村；総合事業の実施区域

